

特定医療法人社団 順心会 順心病院 ●兵庫県加古川市

贈呈理由

高効率ヒートポンプと蓄熱システムの採用により、
省エネ・省CO₂等を実現



順心病院



ヒートポンプ給湯機



エコ・アイス mini

特定医療法人社団順心会は、1981年の順心病院開院から地域に密着した医療を目指し、現在では、病院や介護老人保健施設をはじめとする福祉施設、大学、専門学校などの順心会グループが一丸となり、『医療・介護が一体となって地域の人々のニーズに応え、「安心」の確立と「健康創造」の支援活動をすすめるとともに「医療の質の向上」と「経営の安定化」を図る』の理念の下、安全・信頼の医療・介護を実現を目指して積極的な事業展開をしている。

オール電化で快適性と省エネ・省CO₂を目指す

その順心会グループの中核を担う順心病院は、2012年10月に兵庫県加古川市に移転新築された174床のオール電化の病院である。順心病院は、「地域医療に全力をつくす」の理念の下、24時間

断らない病院として、特に発症数が全国でもトップレベルの「脳卒中」の急性期医療に力を入れている。

設備面では、病院の「救急センターとしての役割」ならびに「災害時における拠点としての役割」を考慮し、信頼性と機能性を有したオール電化を採用した。空調は蓄熱式と高効率ヒートポンプシステムを、給湯は蓄熱式のヒートポンプシステムを導入した。また厨房は火を使わない電化厨房の採用で、より快適な病院環境の構築を図るとともに、省エネルギー・省CO₂の実現を目指している。

職員の省エネ意識の向上を図る

さらにエネルギー管理システム(BEMS)を導入し、電気を「見える化」することで、職員一人ひとりの省エネ

に対する意識の向上を図るとともに、空調の制御運転により、快適性を損なうことなくさらなる省エネルギー・省CO₂の取り組みを強化している。

特定医療法人社団順心会は、グループの連携を強化し、社会と一体となった地域医療の実現と、地域の人々から信頼される医療機関を目指し、これからも努力を続けていく。

特定医療法人社団 順心会 順心病院

所在地:兵庫県加古川市別府町別府865-1
建築設計:株昭和設計
建築施工:鹿島建設(株)
蓄熱設備設計:株昭和設計
蓄熱設備施工:東洋熱工業(株)
延床面積:9,759.86㎡
竣工年:2012年(新設)

●蓄熱設備概要

エコ・アイスmini 5馬力相当×1台(ダイキン工業)
蓄熱槽:0.40㎡
業務用ヒートポンプ給湯機 40kW×3台(三菱電機)
貯湯槽:10㎡×2